

公共下水道事業・特別会計の決算概要

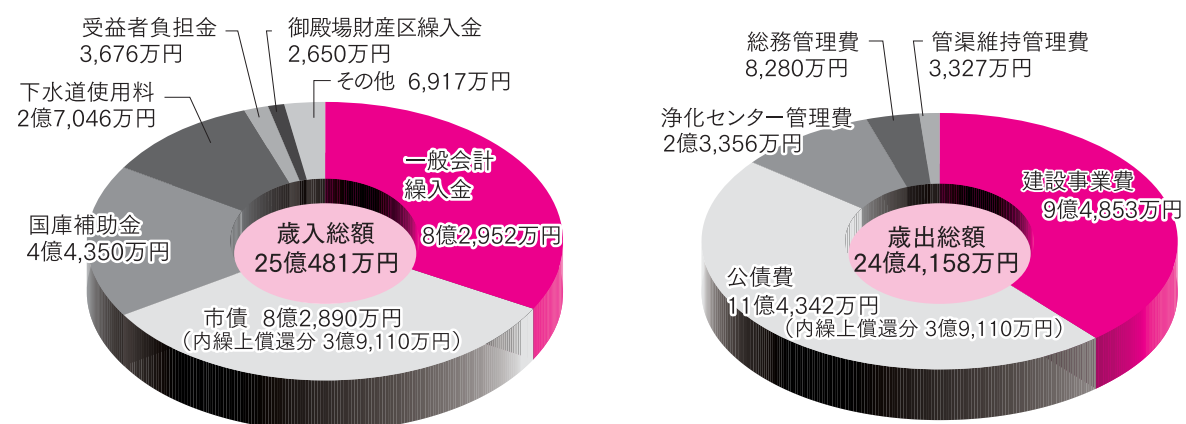
市の公共下水道事業は、昭和63年に着手してから21年が経過し、ようやく御殿場処理区全体の約60%の整備が完了しました。新たに国道138号より北側市街化区域の管渠とポンプ場整備工事に着手しています。交通関係等、大変ご迷惑をおかけしますが、協力をお願いします。

ここでは、平成20年度の決算及び整備状況についてお知らせします。

下水道課
☎(82)4223



平成20年度公共下水道事業特別会計決算の内訳



整備面積や接続人口などの推移

平成19年度		平成20年度	
整備済面積	511.3ha	整備済面積	520.5ha
接続可能人口	24,350人	接続可能人口	25,782人
接続人口	20,190人	接続人口	22,044人
接続率	82.9%	接続率	85.5%
有収水量	2,075千m ³	有収水量	2,190千m ³
使用料収入	2億5,122万円	使用料収入	2億7,046万円
汚水処理コスト	478円/m ³	汚水処理コスト	450円/m ³

※汚水処理コスト = {維持管理費 + 市債償還費 (繰上償還分は除く)} ÷ 有収水量 (使用料対象水量)



▲平成24年3月完成予定の「御殿場第一中継ポンプ場」

◆御殿場 第一中継ポンプ場

御殿場処理区の内、国道138号北側区域の地形勾配は、東北東に下がっています。この区域の汚水をまとめて浄化センターに圧送する必要があります。中継ポンプ場を御殿場区に新たに建設しています。

◆経営方針

事業の効率化を図るとともに、区域内の皆さんのご協力をいただき下水道への接続率が上がるように、経営の安定化に努めていきます。

平成20年度

上水道事業会計決算の概要



市が行っている上水道事業は、民間の企業と同じように独立採算制によって運営しています。

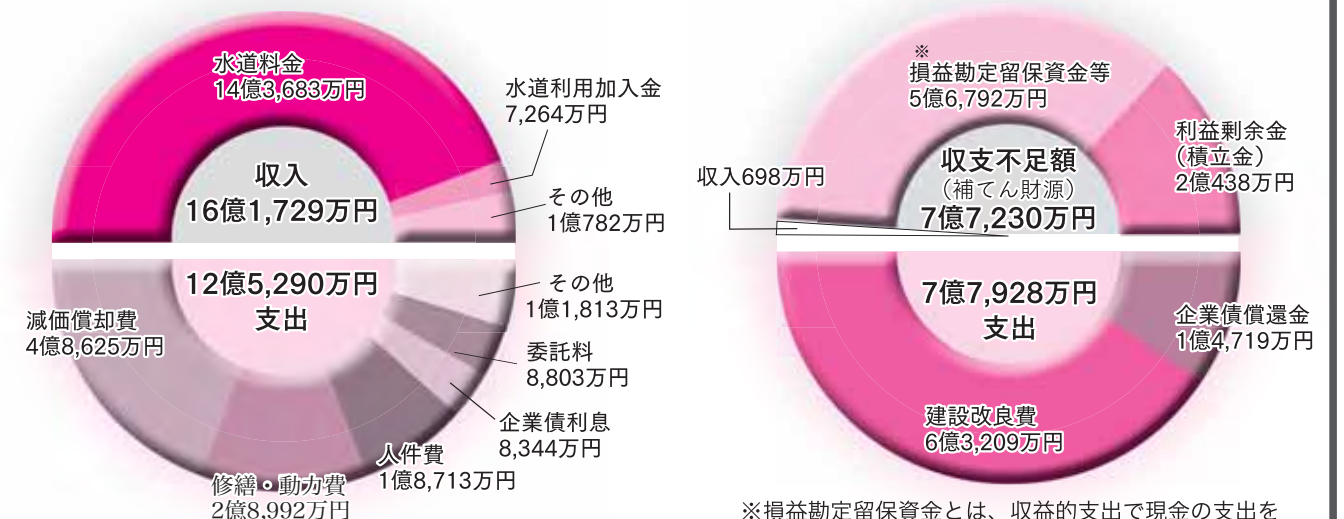
ここでは、平成20年度の上水道事業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されましたので、概要をお知らせします。

水道業務課
☎(82)4626

平成20年度上水道事業会計決算の内訳 (消費税込み)

(事業の管理・運営に関する収入支出)

(施設の建設・改良などに関する収入支出)



※損益勘定留保資金とは、収益的支出で現金の支出を伴わない費用 (減価償却費等) です。

資本的収入と支出

給水人口や総配水量などの推移



区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
給水人口 (人)	83,891	85,437	85,911
給水戸数 (戸)	33,120	33,915	34,676
総配水量 (m ³)	12,480,790	12,663,342	12,621,451
総有収水量 (m ³)	10,355,125	10,508,425	10,466,011
有収率 (%)	83.0	83.0	82.9
給水原価 (円/m ³)	106.1	111.1	108.1
供給単価 (円/m ³)	130.3	130.4	130.7

※有収率は、総配水量に対する総有収水量 (実際に使用した水量) の割合で、比率は高いほどよい。

◆平成20年度の業務状況

平成20年度は、老朽化の度合いに応じた設備の更新、改良等を行うなど、施設機能の維持向上に努めました。給水人口は増加したものの、一人当たりの使用水量が減少傾向にある中で、経営成績や財政状況は、経営の健全性、安定性が維持されています。

また、事務事業の効率化に努めるとともに、平成15年度からの水道料金の5%割引を継続しました。

◆建設改良事業の概要

管路整備は、市内全域にわたり、配水管布設及び布設替工事を延長4、467メートル実施しました。

このほか、茱萸沢第1配水場の築造、流量計・水位計・配電盤等の更新業務とともに、仁杉水源さく井工事、高根第1の2水源・沼田水源取水ポンプ入替等を実施しました。

水道のホームページ <http://city.gotemba.shizuoka.jp/suido/>